

備前東地区総体に向けて、最後の追い込み

いよいよ今週末の6月13日(土)から、待ちに待った「備前東地区総合体育大会」が開幕します。本日の放課後、グラウンドや体育館に足を運ぶと、大会を目前に控えた各部活動の、いつも以上の熱気が溢れていました。

グラウンドでは、サッカー部が本番さながらの激しいミニゲームを行い、仲間と声をかけ合いながら力強くボールを追う姿が見られました。その隣では野球部が練習に励んでいます。現在、部員は少ないですが、それを補うようにバッティングマシンをフル活用。マシンから放たれる生きた球に対して、一人ひとりが集中力を研ぎ澄まし、快音を響かせながら熱心に打撃練習に取り組む姿が印象的でした。

一方、体育館からも熱い熱気が伝わってきます。バレーボール部は、レシーブからスパイクへの連携を何度も確認し、コート内でボールを繋ぐ強い気持ちを感じられました。その横では、バドミントン部がシャトルを打ち合い、コートを俊敏に駆け回っていました。

3年生にとっては、これまでの集大成となる大会です。「これまでの練習の成果を出し切りたい」そんな強い思いが、生徒たちの引き締まった表情から伝わってきました。

大会まであと3日。怪我や体調管理には十分に気を配りながら、最高のコンディションで本番を迎えてほしいと思います。がんばれ、備前中生！

